

## 相互人材交流事業について（案）

## 1. 目的・主旨

各加盟館がもつノウハウやスキルを相互に学び合い、研修者のスキルアップを自館の活動拡大創出の機会に繋げる。また、人材交流をきっかけに、実施館同士が継続的かつ自発的な交流を図ることをねらいとする。

## 2. 経緯

平成 27 年度に相互人材交流を 1 件試行的に実施し、翌年以降の本格運用を目指したが、平成 28 年度は希望館がなく実施には至らなかった。平成 29 年度は、年度始めにアンケート調査を実施し（回答数 125 件）、相互人材交流可能（回答数 20 件）と回答のあった加盟館のうち、希望する研修内容等が共通する館に事務局から追加ヒアリングを行った結果、以下 2 件について 5 日間での実施に向け調整を行う。

## ■平成 29 年度・・・2 件（実施予定）

- ・札幌市青少年科学館（北海道）－名古屋市科学館（愛知県）
- ・向井千秋記念子ども科学館（群馬県）－三菱みなとみらい技術館（神奈川県）

## （参考）平成 27 年度・・・1 件（5 日間）

- ・長野市少年科学センター（長野県）－道の駅「富士川楽座」（静岡県）

## 3. 実施予算

350,000 円(平成 29 年度)

## ① 連携協からの支援

国内旅費（移動費）は実費、滞在費は 1 館 10 万円を上限に実費分を支給

## ② 研修者の所属館の支払い負担

- ・研修者の給与・日当（各館の事情に委ねる）
- ・その他、研修遂行上所属館が必要とみなした費用

## ③ 事務局との検討事項

- ・研修に必要な備品等の支払いが発生した場合

## 4. スケジュール

平成 29 年 7 月～	事務局と実施館間の調整
10 月～	人材交流実施
実施後	経費精算、報告書提出
	平成 30 年度総会で発表